

北京大学元培学院留学報告

松本拓大 (MATSUMOTO, Takuhiro)

東京大学文学部三年次学生

はじめに

この報告書は、北京大学元培学院に2017年9月から2018年1月にかけて、すなわち東京大学の学事歴に照らして言えば2017年度Aセメスターにおいて、東京大学教養学部と北京大学元培学院の間のキャンパス・アジア・プログラムの一員として交換留学した時の様々な状況を具体的にまとめたものです。

学習

北京大学元培学院における2017年9月から2018年1月（一学期間）にかけて、下記の11単位を取得しました。

記

古代漢語（上）Ancient Chinese (1) 4単位

古文選読 Selected Readings of Ancient Chinese 3単位

中国古代文化基礎 Ancient Chinese Culture 2単位

実用漢語修辭 Practical Chinese Rhetoric 2単位

以上

私が履修した授業はすべて本科留学生向けのものでしたが、すべて中文系のもので、実用漢語修辭以外はすべて漢文を読むものであったため、かなり苦労しました。授業自体は多い方ではありませんが、学習の要領をつかむまでは不安になったこともしばしばあります。今から振り返ると、漢文を読む授業は一つに絞って、国際関係や経済学や社会学の社会科学関係の授業も選択した方が広く学べてよかったかもしれないと感じています。

授業の評価は出席、レポート、試験です。北京大学は全学の規定として、3回以上の欠席で当該科目の単位を認定しないという厳しい基準を設けているため、風邪をひいたとしても這ってでも大学に行かなければなりません。また、レポートは家で文献を見ながら書けばいいので全くストレスはありませんが、私が今回履修したものはすべて中間試験と期末試験があり、辞書類の持ち込みは多くの場合認められておらず、漢文の現代中国語訳の試験の直前などは不安と学習のストレスで苦しみました。しかし、案外どうにか切り抜けることができ、成長できたと思います。

北京での日常生活

以下は北京滞在中に記した日記です。

円明三園。康熙、雍正、乾隆の三帝に仕えたイエズス会士カスティリオーネ（郎世寧）が長春園に噴水を作ったことで有名。後に第二次阿片戦争でこの庭園は英仏によって破壊せられ、文源閣四庫全書は焼失した。今は賑やかな観光地。北京大学から歩いていける距離です。園内の美しい池を眺めながら、歴史や文化について思いを馳せました。(14/SEP/2017)
※北京大学に留学している日本人 6 人くらいで円明園を観光した時の日記です。

上个礼拜日去慕田峪长城了。（訳：先週の日曜日に慕田峪長城に行ってきました。）

(26/SEP/2017)

※北京大学、北京語現大学に留学している日本人 6 人くらいで集まって長城を登った時の日記です。

国慶節の休暇には、内蒙古を旅しました。北京から 8 時間くらいかけてバスで呼和浩特まで行って、そこからさらに何時間もかけて希拉穆仁草原とか銀肯塔拉庫布齊沙漠とかを廻りました。草原で馬に乗ったり沙漠で駱駝に乗ったりしました。

北京に帰って来てからは北京 798 芸術区に行ったのですが、写真趣味の友人が撮影してくれました！

と、まあ、遊んでばかりだったので、ここ数日は休暇前に出た課題やレポートを一気に書いている生活してます。これから一ヶ月ほど中間試験に向けて読書漬けです。中間試験が終わったら上海か香港に行きたい。(10/OCT/2017)

※国慶節の休暇に内モンゴルに行った時の日記です。国慶節は、北京大学国際文化祭と中間試験のちょうど間にあつたので、気分転換に旅行するいい機会でした。この時は北京大学に留学しているほかの日本人二人と一緒に旅行しました。

我再來到了這世界上我最喜歡的城市：香港！（訳：世界で一番好きな都市香港にまたやってきました！）(05/NOV/2017)

※中間試験やレポートに追われて疲れていたもので、前日に航空券を買って香港に金、土、日の三泊二日弾丸旅行した時の日記です。10 月頃に X2 ビザを一回出境できるものに切り替えておいてよかったです。

先の金曜日に古代漢語の中間試験が終わりました。白文に標点したり現代中国語に訳したりするような問題は大きくは難しくありませんが、原文穴埋め問題などには苦勞しました。それで、気分転換に、日曜日に日帰りで行って上海に行ってきました。東京の友人と上海で待ち合わせて会う予定でしたが、飛行機の時間の関係で今回は会えなかったので、一人で散歩しまし

た。名所旧跡を廻って楽しかったです。夜に、上海から北京に帰る前に、暇つぶしに浦東で映画『追捕』を見ました。福山雅治が出てて、中国語上手いなあ！って思いました。

(27/NOV/2017)

※古代漢語という授業の中間試験が終わったので日帰りで上海に行った時の日記です。列車よりも飛行機の方が時間が短く値段も安いので驚いた記憶があります。

現在米国在住の高校の同級生が北京を訪ねてきて久しぶりに会って飯を食いました。非常に有意義な話ができ楽しかったです。これで期末試験も一気に乗り越えたいです。

(19/DEC/2017)

※高校の旧友と北京で再開した時の日記です。特に12月は北京はとても寒くて厳しい環境ですが、たまに思いがけない人と会うと新鮮さや活力がわいてきます。

新年快樂，萬事如意！

今日は、友人と中国国家図書館の元旦展覧を見に行き来しました。『四庫全書』の展覧です。清代に幾つかの箇所で作られた『四庫全書』のうちには、英仏軍や太平軍によって焼失せられたものもありますが、幸いにして今日に至るまで現存している『文津閣四庫全書』の展覧会に見に行ってきたというわけです。

いにしえからの主要な漢籍のほとんどを網羅している『四庫全書』。やはり、このような偉大な文化的事業を成し得る国は、後にも先にも中国以外にはないでしょう。

『四庫全書』では、四部分類と言って、漢籍を経、史、子、集の四部に分類しており、一枚目の写真のように色分けが為されています。四部分類法は、漢籍目録学史上の数多の優れた学者らの試行錯誤と学究の偉大なる成果と言えるでしょう。

膨大な量の書籍や档案が整然と分類されて管理されていた様子を見ることによって、学術と政治と文書行政とが相互に強く関係し合っていた曾ての中国の思想空間を窺い知ることができた気がします。今日は非常に良いものを見ました。(01/JAN/2018)

※東京大学文学部の陳捷教授から WeChat で中国国家図書館の元旦展覧についての情報をお知らせいただき、東大から北京大学に来ているほかの日本人と二人で四庫全書の展示を見に行ってきました。非常に有意義な展示で、勉強になりました。

今週、ついに日本に帰ってきました。暇なので、本郷の授業に潜ったり、最近会社を始めた友人の日中翻訳を手伝ってあげたり、文庫本や新書を買ったり、友人と気ままに映画を見たりと、楽しく過ごしています。

住み慣れた東京の街は歩くだけで楽しいですが、ただ一つ、北京で住んでた家よりも今の東京の家のほうが寒いということに、驚きを禁じ得ない。(屋外気温は当然北京の方が低いはずですが) (18/JAN/2018)

※日本に帰ってきた直後の日記です。

このように、学習以外の面でも様々な体験をすることができ、実りのある留学経験となりました。